平成 24 年 7 月 13 日

各　位

会 社 名　　日本和装ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　吉田重久
（コード番号：2499　東証第二部）
問合せ先　　常務取締役管理本部長　　菅野泰弘
（ TEL. 03－3216－0070）

平成 24 年 12 月期第 2 四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 2 月 7 日に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 24 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,000	220	210	120	1,333 04
今回発表予想（B）	2,900	71	45	16	177 74
増減額（B-A）	△100	△149	△165	△104	―
増減率（%）	△3.3	△67.7	△78.6	△86.7	―
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 23 年 12 月期第 2 四半期）	3,318	276	263	127	1,415 34

平成 24 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,400	500	480	280	3,110 42
今回発表予想（B）	6,200	350	330	190	2,110 64
増減額（B-A）	△200	△150	△150	△90	―
増減率（%）	△3.1	△30.0	△31.3	△32.1	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年 12 月期）	6,538	365	328	150	1,669 15

修正の理由

１．平成 24 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正の理由

（売上高）

平成 24 年春期「無料きもの着付教室」の受講者募集の結果は、全国で前年春期比 17%減の約 10,000 名となり、うち首都圏エリア（東京・神奈川・千葉）では前年春期比 35%減となりました。

この受講者募集における広告宣伝活動は、当社が前年より打ち出している「きものシンデレラストーリー」のコンセプトのもと、イメージキャラクターに有名タレントを起用せず、当社の既存顧客のみの出演で展開した初めての企画でしたが、認知度を得られないものであったと分析します。

獲得した新規の受講希望者に対しては、当事業年度の目標である、「日本和装」事業の原点回帰をめざし、「無料きもの着付教室」における顧客満足度の向上を図るべく、教室の運営に経営資源を集中させ、さらに首都圏エリアの営業組織の再編制を実施しましたが、売上高は予想値を下回る見通しとなりました。

（営業利益、経常利益及び四半期純利益）

上記の施策により、広告宣伝費を前年同期比 25%削減できたことなど、販売管理費は計画通りに縮小しました。連結子会社においては、日本和装クレジット株式会社のショッピングローン利用促進により、外部への支払手数料を縮小、株式会社はかた匠工芸では、自社製品を中心に販売したことから利益率が向上しました。

しかしながら、上記の売上高減少にともなう利益の圧縮と、8 月に開催するコンテスト「きものブリリアンツ全国大会」に付随する地区予選会を、前年より 9 会場多く開催したことによる会場費等の増加額及び 2 月に東京証券取引所市場第二部へ上場したことに係る諸経費等により、利益が予想値を下回る見通しとなりました。

２．平成 24 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正の理由

既存顧客から育成したきもの講師「きものマエストラ」の活躍や、次回の受講者募集広告への出演など、多くの既存顧客が当社事業に積極的に参加している現状から、既存顧客と当社の結びつきを強くする施策は、功を奏してきていると認識しております。また、当事業年度より実施している、「無料きもの着付教室」における顧客満足度の向上を図る施策についても、今後継続的に取組むことで効果が現れるものと確信していることから、これらの施策は引き続き計画通りに実施いたします。

よって、通期連結業績予想数値は、売上高については、秋期「無料きもの着付教室」の受講希望者数が春期同等となる可能性もあることから、第 2 四半期累計業績同等の減少とし、利益については、上記施策の効果による利益率の向上を見込み、第 2 四半期累計業績予想数値の修正値のみを反映して修正するものです。

（注）上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は今後の様々な要因の変化により、予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、当社の平成 24 年 12 月期第 2 四半期決算短信の開示は、平成 24 年 7 月 31 日を予定しております。

以　上